

別紙 参考様式 1

令和 6 年度学校経営計画

学 校 名 東広島市立黒瀬中学校

校 長 名 鈴木 晶雄

I 学校の状況

学級数	17	児童・生徒数	464	教職員数	52
メールアドレス	kurose-chu@city.higashihiroshima.hiroshima.jp				
ホームページアドレス	http://www.city.higashihiroshima.lg.jp/school/kurose_chu/				

II 教育目標

前向き

III 経営理念（ミッション・ビジョン）

【ミッション】 将来への夢と生きる力をはぐくみ自己責任と社会貢献を実践する人材に育てる。 【ビジョン】 「人みな尊し 我また尊し」の校訓のもと、黒瀬中の品格と誇りを持ち、社会貢献を実践する人材を育てる。 黒瀬中の品格と誇り【前力三訓】 <前 進> 様々なことに挑戦する。 <前 向 き> 失敗を恐れず、何事にも積極的に取り組む。 <当たり前> 当たり前のことを当たり前に行う。
--

IV 中期経営目標及び短期経営目標

項目	重点	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目
確かな学力	1	「基礎・基本」の確実な定着と活用力の育成	○基礎的な学習内容の着実な定着 ○主体的・対話的で深い学びを実現する授業力の向上	・単元テスト等の計画的な実施 ・指導と評価の一体化（めあてと振り返りの一体化） ・生徒指導の三機能を生かした授業づくり ・思考を深める課題の設定とICTを効果的に活用する授業づくり	・単元テストで30%未満の生徒の割合が30%未満 ・授業中に「めあて」の提示と「振り返り」を行う教職員の割合：90% ・「学ぶこと（授業）が楽しい」と肯定的にとらえる生徒の割合：85%以上 ・他者の意見を参考にして自分の考えを再構築している生徒の割合：70%以上
豊かな心	2	豊かな心の醸成と健やかな体の増進	○気持ちのよい生活態度の育成 ○美しい環境づくりの推進 ○自他を尊重する集団の育成	・黒瀬スタンダードや学校のきまり等の規範意識の醸成 ・無言清掃の徹底 ・前力三訓を意識した学校生活の促進と正義感の醸成	・黒瀬スタンダード（挨拶、返事言葉遣い、履物、姿勢、服装、身なり、時間を守る）を意識した生徒及び教職員の割合：90%以上 ・無言清掃に取り組む生徒の割合：90%以上 ・前力三訓を意識し、行事に前向きに取り組むことができる生徒の割合：90%以上
学校運営	3	機能的な組織運営	○働き方改革の推進 ○情報発信と地域の教育資源の有効活用	・学校組織の適正化と分掌等役割配分の適正化 ・学校だより等の月1回以上配布とHPの計画的な更新月平均3回以上 ・広島国際大学との提携による教育活動の促進（連携して実施する教育活動、各学年1回以上）	・未然防止の生徒指導、学習評価の適期を意識した業務遂行のできる教職員の割合：90%以上 ・学校の様子がよく分かると感じる保護者：80%以上 ・広島国際大学等の外部講師を招聘した社会に開かれたカリキュラム・マネジメントを創意・工夫した教育活動について、意欲的に取り組むことができたと感じる生徒の割合：80%以上

V 学校評価

1 学校評価システムの組織（構成者を含む）

（１） 自己評価 … 年２回 実施

学校運営協議会 … 校長・教頭・事務長・教務主任・学年主任・生徒指導主事

評価者	評価方法	評価時期
教職員	アンケート	７月・１２月
生徒	アンケート	７月・１２月
保護者	アンケート	７月・１２月

（２） 学校運営協議会（７名）

平田 裕 様 沖川 淳 様 橋本 祐子 様（地域学校協働活動推進委員）
藤田 春恵 様（黒瀬高等学校長） 今朝丸 由香 様（東広島市立乃美尾学校長）
木原 博紀 様（ＰＴＡ会長） 鈴木 晶雄（学校長）

保護者	アンケート	７月・１２月
学校運営協議会委員	説明・協議	６月・１１月・２月

2 自己評価及び学校運営協議会の実施計画

- ・自己評価（７月）での進捗度、成果と課題、改善を校内研修において全職員で共有化し、後期の取組に生かす。
- ・学校運営協議会（１１月）で説明し評価を受けるとともに、評価結果を学校だより等で公開する。
- ・自己評価（１２月）での進捗度、成果と課題、改善を校内研修において全職員で共有化し、翌年度の計画・施策に反映させる。
- ・学校運営協議会（３月）で説明し評価を受けるとともに、評価結果を学校だより等で公開する。
- ・評価結果を反映した新年度計画を学校経営計画書として作成し、新年度の学校説明会で説明する。